

## 水稻機栽移植栽培における育苗技術の安定化に関する研究

### 第2報 稚苗育苗における置床出芽及び苗形質の向上について

古城斉一\*・今林惣一郎・大隈光善  
(福岡県立農業試験場 \*福岡県農業技術課)

KOJO, S., IMABAYASHI, S. and OKUMA, M.

Studies on the Stabilization of the raising Seedling for rice Transplanter.

#### 2. On the raising method of the seedlings at 3-leaf age.

現在もなお、一部の農家では、苗長の長い苗を望むため、育苗における出芽や緑化作業の中で、無理に苗を長くしようとして、育苗に失敗する例が多い。長苗を欲するのは田面が必ずしも均平でないので、移植時に苗が水没することがあるためと考えられる。このような場合、四～五葉苗を用いることが望ましいが、育苗技術がやや複雑な上に、資材・労力を多く要するため、広く普及することは困難なようである。

そこで、苗質を低下させずに、しかも容易に苗長を長くする方法として、従来の稚苗よりもやや苗令が大きい三葉苗の育苗法について検討を行った。

#### 1. 試験方法

- (1) 品種 レイホウ
- (2) 播種期・播種量及び施肥量

苗	播種期	播種量 (g/箱)	施肥量(N・P・K, g/箱)
三葉苗	5月30日	150, 170	基肥各1.0, 移植5日前N0.5
二葉苗	6月4日	200	基肥のみ各1.0

#### (3) 出芽・緑化法

積重ね出芽: 播種後3日間積重ね、出芽後は一面に並べて置き、黒色不織布で被覆。

平床出芽: 播種後、揚床水苗代に並べて置き、その上を不織布などで被覆。

(4) 移植期 6月24日

#### 2. 試験結果及び考察

(1) 苗の生育及び苗素質 本試験の場合、三葉苗は必ずしも長くはなっていないが、それでも13cmの苗長を保っている。各葉長からみると、健全な生育を示しており従来の稚苗(二葉苗)に比べて、苗長を長くするのは容易であると考えられる。苗素質は二葉苗よりまさっており、特に深水条件下における生育が良好である。離乳期にある三葉苗の苗質が、むしろ二葉苗よりまさっているのは、移植前の追肥の効果が大きかったためと思われる。

以上のことから、苗長の長い健苗を得る簡単な方法として三葉苗育苗は実用性の高い方法であると考えられる。

(2) 出芽・緑化法 平床出芽は苗の生育が健全である反面、第1, 2葉の伸長が抑制されるので、3葉以上の育苗に適しており、二葉苗ではさらに被覆資材・日数の検討が必要である。

#### (3) 三葉苗育苗技術

播種量: 160~170g/箱 (浸種粒の約200gに当る)

施肥量: 基肥…従来の稚苗と同じ、追肥…移植7~5日前N0.5g。

出芽・緑化法: 平床出芽が適している。積重ね出芽を行う場合、緑化は中苗に準ずる。

育苗日数: 約25日, 育苗箱数: 18~20箱/10a

第1表 苗の生育及び苗素質

処 理			葉 長 (cm)			移植時 (6月24日)			発根力 (莖根量)	深水条件下の生育			
播種期	管理法	播種量 (g/箱)	1/0	2/0	3/0	苗長 (cm)	苗令 (L)	乾物重 (mg/本)		草丈 (cm)	乾物重 (mg/本)		
5月30日	積重ね黒布	2日	150	6.1	13.0	13.7	13.5	3.3	15.2	76	32	29	
	平床	"	5日	"	5.0	10.8	13.1	13.3	3.4	14.2	64	32	28
	"	白布	10日	"	4.3	10.0	13.3	13.7	3.6	13.6	59	31	24
	"	"	"	170	4.1	10.0	13.6	13.7	3.6	13.7	61	31	22
6月4日	積重ね黒布	3日	200	8.2	14.1	—	14.3	2.1	12.3	52	27	17	
	平床	"	7日	"	5.5	9.3	—	9.3	2.4	10.6	35	27	14

注) 1. 発根力: 5mmの長さに剪根後、代かきした土壤に移植し、10日後に調査(根長×新根数)。  
2. 深水条件下の生育: 代かきした土壤に移植した後、水深15cmを保ち、10日後に調査。